

## 産後うつ 容易に診断

富大・松村講師グループ 簡単な質問で

富大芸術学部医学系公衆衛生学講座の松村健太講師らのグループは15日、産後うつを簡単な質問で予測

する診断モデルを考案したと発表した。容易に回答できるため、保健センターや産婦人科などの現場での活用が期待される。

診断モデルは妊娠中に6カ月を超える産後うつとなるリスクを判定する。質問は「自分の価値のない人間だと感じたか」から始まり、

復する。一部は慢性化し、6カ月を超える持続型は母子の健康に大きく影響を与えることもある。

研究は「子どもの健康と環境に関する全国調査」(エコチル調査)「から得た母親のデータを分析。持続型の産後うつと判定された母親の76%、産後うつでない

と判定された76・8%を妊娠中から予測できた。産後うつは発症率10〜15%とされ、大半は自然に回